

どちらがブナの木肌ですか



途中、私たちが手掛けているブナの植林地を下から見て、ミズナラとブナの緑のトンネルのグリーンシャワーを浴びながら三の沢のブナ林に入り、実際にブナの肌に触れ、聴診器をあて、水の音を聴いてみました

2



ブナ林での説明を聞く生徒たち



聴診器を当て、水の流れを聞く生徒たち
11人中10人が聴こえたそうです。聴こえなかった松原さんと舛谷先生は後日聴こえるまで案内します。



ミズナラ の巨木は生徒で3人半（3m78cm）

最後に生徒のお礼のあいさつ

第1回、第2回を終えて

私たちは、純粋で感受性の豊かな子供たちに、どのように接したらよいのか、更に豊な感受性を育ててやるにはと真剣に考えた。私たちが知っていることを披露することは簡単、それではない。今は、どこまで教えるのか？どのように興味を持たせるのか？・そして、今日体験したことが地球温暖化とその防止に、どんな関係があるのか・・・？考えるようにならせるのには・？と真剣に考えた。子供たちは、こんな歳で地球温暖化対策に真剣に取り組まないと地球は救えないかわいそうな運命にあるのです。原因は全て私たち大人が作った負の遺産なのです。

ブナを育成する会では、今まで大人が先頭になって実践して来ましたが、子供たちの教育にも力を入れることにしました。